



お母さんの 命を守る キャンペーン

2010年4月12日 発行
国連人口基金東京事務所
キャンペーンリリース No. 12

国連人口基金（UNFPA）東京事務所は、2009年6月22日から2010年7月11日の「世界人口デー」までの約1年間、「お母さんの命を守るキャンペーン」を日本国内で実施しています。

「お母さんの命を守る」 3曲のメッセージソングができました！

国連人口基金東京事務所の「お母さんの命を守るキャンペーン」のサポーターとしてご協力いただいている3組のアーティストが、素敵なメッセージソングを作成してくださいました。それぞれ独自のスタイルと音楽性を活かし、掛け替えのない存在である母親の愛情と、途上国で失われている多くのお母さんの命の尊さを歌う、心温まる素晴らしいメッセージソングとなりました。

また、それぞれのメッセージソングの収益の一部は、アーティスト本人のご希望により、国連人口基金の「お母さんの命を守る」活動に寄付されることになっています。

今後、メッセージソングを通して、より多くの方々に世界のお母さんが置かれている状況について知っていただき、日本にいる私たちにできることは何かと考えるきっかけとなればと願っています。

● ロッキー船山

「母の愛にいだかれて – Save the Mothers of the World –」

● ケイコ・ボルジェソン

「これからのNINA – No Woman Should Die Giving Life –」

● XUXU（しゅしゅ）

「MOTHER」

それぞれの曲の解説は裏面をご参照ください。



ロッキー船山



ケイコ・ボルジェソン



XUXU（しゅしゅ）

* 5月9日の母の日に向けて、母の日特集などで是非ご紹介していただきますようお願い申し上げます。

* 音源をご希望の方は、裏面の連絡先へ、Email またはお電話でお問い合わせください。

「お母さんの命を守る」メッセージソング紹介

●●● 「母の愛にいだかれて – Save the Mothers of the World –」 作詞・作曲・歌 ロッキー船山

2007年に昭和女子大学人見記念講堂に、1500名を集めて行われた国連人口基金支援チャリティ「母と子に捧げるコンサート」のテーマ曲として作られました。その後、ラジオで流れる度にリスナーの心をとらえ、お問い合わせのお電話をいただいています。「日本語で歌うジャズ」を作詞・作曲するロッキー船山が、「女性が子どもを産みやすく、育てやすい社会や環境づくり」がいかに重要な課題であるか、母親の愛情のように大らかなメロディーにのせ、私たち一人一人に問いかけます。

<http://rocky0408.com>

●●● 「これからのNINA – No Woman Should Die Giving Life –」 作詞 上野ふよう 作曲・歌 ケイコ・ボルジェソン

スウェーデン在住のジャズアーティスト、ケイコ・ボルジェソンは「自分の音楽を通じて、希望と平和を歌うことで人々を元気にしたい」という想いを胸に、ヨーロッパや日本、中国などアジア諸国でも、音楽を通じた支援活動や文化交流を積極的に展開しています。昨年のサントリーホールでのコンサートをはじめ、ライブ会場で「お母さんの命を守るキャンペーン」の推進にご協力いただいています。途上国で1分に1人のお母さんの命が失われている現実と、それを乗り越える希望の歌を、力強いのびやかな声で聴かせる曲です。

<http://www.officekeiko.com>

●●● 「MOTHER」 作詞・作曲 yumi (XUXU) 歌 XUXU

XUXU (しゅしゅ) は、結成10年になる女性4人のアカペラグループです。XUXU語と称する独自のスキヤットスタイルを用いた「XUXUサウンド」を確立し、あらゆるジャンルの音楽を色鮮やかに歌いあげます。2007年には日本人として初めてパリのジャズ・フェスティバル「Touches de Jazz」に出演し、大きな反響を呼びました。かけがえのない母の愛と、途上国で失われているお母さんの命を守りたいという切実な思いを、透明感あるXUXUのハーモニーを通じて感じてください。

<http://www.xuxu442.com>

国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所 (担当: 上野・出浦)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル7階

TEL: 03-5467-4684 / FAX: 03-5467-8556

E-mail: tokyo.office@unfpa.or.jp

www.unfpa.or.jp/mothers / twitter.com/UNFPA_Tokyo

